

平成27年度 JENESYS2015 対日理解促進交流プログラム タイ派遣

【派遣期間：平成27年11月10日～19日】

本学の国際交流サークルミナパ（MINAPA）のメンバーである私たち5名は、昨年11月10日から9日間、日本政府が推進する対日理解促進交流プログラム JENESYS 2015 に参加し、タイを訪問してきました。タイでは主に、現地の大学との交流、ホームステイ、世界遺産アユタヤの視察、ODA サイトであるアジア太平洋障害者センターの視察などを行ないました。

私たちの住む北海道・札幌市には近年多くのタイ人観光客が訪問していますが、実際「タイ」という国についてよく知っている人は、そう多くはないと思います。

私自身、タイについてよく知りませんでした。この9日間のプログラムを通してそれまでの印象と直接見て経験したタイはかなり異なるものでした。

今回訪れた場所は都市部が中心ではありましたが、人口630万人を誇る首都のバンコクは非常に近代的で、著しい経済成長がうかがえました。

街を走る車の9割が日本車で、街には日系企業や日本食提供のお店が立ち並び、その他教育や行政に至るまで、日本を参考にしつつ、自分たちに適合させた形で発展してきたことが十分理解できました。

私達にとって、当プログラムで最も印象深い体験となったのは、**丸2日間行われたタマサート大学とタイ商工会議所大学との交流**です。プログラムの内容はどれも個人旅行などでは経験のできないことばかりでした。また、同世代の大学生と直接触れ合い、彼らとの交流の中でお互いの文化や習慣、様々なことを共有或いは違いを認識できたことにより良い刺激を受けることができました。

実際に私達5名は、日本の文化紹介として「折り紙」を取り上げ、タイの学生に体験型のプレゼンテーションを行ないました。一方彼らからは、ムエタイやタイの伝統的な踊り、礼儀作法、タイ料理づくりを習ったほか、余裕のある自由な活動を通して、タイの学生との距離感もぐっと縮まり、彼らとは2か月過ぎた今でも、メールなどで頻繁に連絡を取り合うほど、絆を深めることができました。

その他にも、プログラムで出会った素晴らしい人々、体験など、どれをとっても実り多い経験となりました。初日には、在タイ日本国大使館とタイ社会開発人間保障省子供青少年局を表敬訪問し、日本とタイの緊密な関係について学び、1泊2日のホームステイでは、短時間ではありましたが、優しいホストファミリーの家庭に滞在し、生活習慣を学びました。



世界遺産であるアユタヤでは象乗り体験などタイならではの体験をしたほか、歴史や伝統文化についても理解を深めました。最後に訪れたアジア太平洋障害者センターは、日本の政府開発援助（ODA）によって建設された施設で、障害者の社会参加の促進を目的とした公的機関でした。「障害者のための活動ではなく、障害者の社会参画を通して社会をより良くしていく」ことを目的としており、日本の支援がタイにおける先進的な福祉として大いに役立っていることがわかりました。

タイ国派遣中、多くのタイ人から日本人である私たちに対する敬意の念が感じ取れました。タイの人々にとって、日本という国は、日本人が考えているよりはるかに身近な国として捉えられ、これまでに日本が行なってきた支援や日本文化などが広く生活に浸透しており、日本人として誇りにさえ感じることができました。

私達は、これまであまりタイについて知りませんでしたが、両国には数百年にわたる緊密な歴史的な関係があることも知りました。両国の関係は過去には最も身近な支援国・被支援国でしたが、現在と未来においては共に発展し続けていくアジアのパートナーとして互惠協力関係を築いていける大切なパートナーであると言えます。

今私達にできることは、もっとタイを知り、そして観光客の方などに対しても、おもてなしの心を持ち日本の魅力を伝える一員となることです。今後も、新しいタイの友人達との友情を大切に、日本の様々な魅力について、タイを含めた海外の人々に発信し続けていきたいと思っています。

（文責：本間 愛州佳）

JENESYS2015 対日理解促進交流プログラム タイ派遣 標準日程(案) 10日

※ホームステイあり

2015/9/9現在

			プログラム	目的	宿泊	
事前説明会（渡航1か月前を目安に派遣国1回（於 JICE））。						
1日目	11/10	火		成田空港集合、簡易オリエンテーション 成田 11:45 → バンコク 16:45 (TG643)	マンダリンホテル(1)	
2日目	11/11	水	午前	日本国大使館 訪問	相手国の歴史・文化・政治・経済等を知り、相手国理解の一助とする。また、相手国との関係、日本の位置づけや評価を把握し、「日本の政治、社会、歴史および外交政策」を発信する準備へとつなげる。	マンダリンホテル(2)
			午後	JICAタイ事務所 訪問		
3日目	11/12	木	終日	学校訪問① Thamassat University ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演(経済・産学・歴史・自然・文化等) ・相手国学生からの相手国紹介プレゼンテーション ・現地学生とのディスカッション	相手国の同世代の青少年に対し、日本の歴史・文化・自然・地域の魅力、先端技術、外交等についてプレゼンテーションを行い、相手国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、相手国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と相手国間の友情を育む。	マンダリンホテル(3)
4日目	11/13	金	終日	学校訪問② University of Thai Chamber of Commerce ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演(経済・産学・歴史・自然・文化等) ・相手国学生からの相手国紹介プレゼンテーション ・現地学生とのディスカッション	相手国の同世代の青少年に対し、日本の歴史・文化・自然・地域の魅力、先端技術、外交等についてプレゼンテーションを行い、相手国学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、相手国学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本と相手国間の友情を育む。	バンコク泊(4) ホームステイ
			夕方	ホストファミリーと対面夕食会 ホームステイ(テーブルラ—学校の生徒宅)	現地の一般家庭に滞在し、交流を通じて異文化の生活を体験することで、草の根レベルの日本と相手国の信頼関係を築く。ホストファミリーや地域の人々に対しても、日本の良さを紹介し、一般の人達が日本に関心を持つきっかけをつくる。	
5日目	11/14	土	終日	ホームステイ(テーブルラ—学校の生徒宅)	マンダリンホテル(5)	
6日目	11/15	日	AM	歴史/文化/自然体験(アユタヤ—視察)	世界遺産等を訪問し、相手国の自然環境・歴史についても理解を深める。	マンダリンホテル(6)
7日目	11/16	月	午前	アジア太平洋障害者センター(APCD)視察	日本の援助の現場(技術協力プロジェクト、ボランティアの活動サイト等)を訪問し、ODAを通じた日本の位置づけ(先進国としての日本の役割、国際協力を通じた日本と相手国の関係等)を理解する。	マンダリンホテル(7)
			午後	ワークショップ・報告準備	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、相手国関係者に報告する内容をまとめる。	
8日目	11/17	火	午前	報告会準備	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案について、日本大使館・相手国政府・交流学校関係者等に報告する。	機内泊
			午後	帰国準備		
			夜	バンコク 22:35 → 成田 06:15 + 1 (TG640)		
9日目	11/18	水		帰国 解散		